

第 361 回 若松区地域ケア研究会に参加しました。

7月23日に「第361回 地域ケア研究会」が開催され、大垣院長が参加し、後日院内で伝達講習を行いました。

今回の地域ケア研究会では、戸畑リハビリテーション病院 副院長 緩和ケア部長 衛藤 隆一先生が座長を務められ、「地域包括ケア病棟」をテーマに3つの演題を通して、地域包括ケア病棟の役割や在宅医療との連携について学びました。

伝達講習では、急性期治療後の患者さんを受け入れる「ポストアキュート」と、在宅療養中の患者さんの病状悪化時などに受け入れる「サブアキュート」の違いや、地域包括ケア病棟には特定の対象疾患が定められておらず、患者さん一人ひとりの状況に応じて柔軟に活用できることを改めて学びました。

また、戸畑リハビリテーション病院では年間629件もの受け入れ実績があり、地域の在宅医療を支える重要な役割を担っていることが紹介されました。日頃から多くの患者さんを受け入れてくださる地域医療機関の存在は、在宅医療に携わる私たちにとって大変心強いものです。

当院でも、地域包括ケア病棟をレスパイト入院で利用させていただく機会があります。レスパイト入院は、患者さんのためだけでなく、ご家族や介護者が心身を休めるための大切な支援です。介護を続けるためには、介護者が安心して休息を取れる環境が欠かせず、レスパイト入院は在宅医療を支える重要な役割を果たしています。

今後も地域の医療機関との連携を大切にしながら、患者さんご家族が安心して在宅療養を続けられるよう、より良い在宅医療の提供に努めてまいります。

